

こども園における自己評価

東光宮前こども園

A：十分達成している B：ほぼ達成している C:検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
目 教 標 育 て に ・ っ 保 い 育	・ 目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	B	全体計画の見直しを行った。休日保育では特別支援の受入れが多く、その対応に苦慮した。園開放では多くの地域の方の参加があり入所希望も多かった。
	・ 目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	A	
	・ 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	B	
	・ 目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	B	
教 育 ・ 保 育 目 標 に つ い て	・ 指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	A	各クラス複数担任のため指導計画を2人で分けて記入していたが、ねらいや到達目標までの進め方に違いがあり年間指導計画からの統一性が大切なのではないかと感じた。特別支援や援助が必要な子どもが多く、クラス全体で活動を進める時に難しさを感じるが多かった。
	・ 毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	A	
	・ 月ごとに指導計画の表か・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	B	
	・ 1日の流れ（デイリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に務めているか	A	
	・ 行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	A	
	・ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	A	
	・ 自主性や主体性を重んじて生活習慣が身に付くようにしているか	A	
	・ 子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	A	
	・ 子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	A	
	・ 同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	A	
	・ 素材、用具を適切に活用しているか	B	
	・ 保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	A	
	・ 子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	A	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	B	食事については年2回試食会を実施し、その意見を反映させている。避難訓練についても毎月実施している。また、今年度も不審者対策講習や救命講習についても全員参加するため勤務時間内に実施した。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	A	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策）を講じているか	B	
	・健康、安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	A	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	A	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	A	
職員の向上資質	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	B	各研修会参加後にはレポート回覧と本人発表を行っている。日常の保育に取り入れる等、職員に取っては勉強になっている。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	A	
	・研究、研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	A	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	A	
職員運営について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	B	行事に関しては担当を中心に早めの準備としたいが、なかなか反映されなかった。ミーティングは情報の共有として大切だが、パート職員も多く、ねらい等の把握とデイプロの流れの把握がなかなか徹底できなかった。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	B	
	・各種会議や打ち合わせを適切かつ効率的に進めているか	B	
	・職員は社会福祉施設職員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	B	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	B	
務守の秘義	・乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	A	年々生活環境が低下している子どもも多く、児童相談所にて協力の提供をしていただいた。また巡回相談についても子ども総合相談センターとの協力ができたと思う。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	A	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	A	

項目		内容	評価	備考欄
開 か れ た こ ど も 園 づ く り	施 設 ・ 地 域 と の 交 流 や 連 携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	B	幼保小連携の研修の中で、年間交流を計画し交流を行うことができた。それにより就学への期待感を持つことができた。また高校生によるボランティアの受入れで、普段接することのない者同士、お互いの教育・保育に対して理解を深めることができた。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	B	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか	B	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	A	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしているか	B	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	C	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	A	
	子 育 て 支 援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行っているか	A	園開放日には多くの親子が来られ、保育内容を体験していただいている。子育て相談も多く、特に一時預かりは小集団からの入所希望も多い。また気になる子については市の巡回相談を多く利用して子育ての共有を行っている。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	B	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	A	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	A	
	情 報 の 発 信 外 部 評 価	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	B	少しずつ地域との関りを増やすことができた。卒園児も多くなり、夏まつり参加者も増加している。
		・地域の連絡会等でこども園の取組を発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育。保育の充実に役立てているか	B	
		・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	B	連絡帳や個別懇談を通して、できるだけ保護者の意見を取り入れてきた。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	B	
施 設 ・ 設 備	・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	A	各クラス、また園舎全体の安全点検は定期的に実施している。また遊具等についても業者にて点検済みであるが、ピン等落ちている時もあり掃除の徹底が必要である。	
	・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	A		
	・災害や不審者等に対する整備を行っているか	B		
	・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	B		
経理出納		・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	A	

令和7年2月20日 東光宮前こども園 園長 松浦 由美子